



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名 旭松食品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2911 URL <http://www.asahimatsu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 博隆
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長 (氏名) 足立 恵 (TEL) 06-6306-4121
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,999	△3.3	87	101.3	105	85.5	59	85.1
2020年3月期第1四半期	2,068	7.4	43	—	56	—	32	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 74百万円(263.7%) 2020年3月期第1四半期 20百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	32.95	—
2020年3月期第1四半期	17.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	9,825	7,000	70.8
2020年3月期	9,887	6,980	70.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 6,956百万円 2020年3月期 6,936百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,850	0.1	330	5.3	380	1.7	280	6.6	154.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	1,876,588株	2020年3月期	1,876,588株
2021年3月期1Q	68,024株	2020年3月期	68,024株
2021年3月期1Q	1,808,564株	2020年3月期1Q	1,828,958株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響により極めて厳しい状況となりました。政府による緊急事態宣言など感染拡大の防止策は経済活動の自粛・停滞となり景気の先行きが見通しにくい状況となっております。

食品業界におきましては、消費者の安全・安心への関心が益々高まるなか、食品衛生法改正により本年6月に「食品等事業者」へのHACCP(ハサップ)の導入義務化が施行され、一段と高い品質・衛生管理体制の整備が求められております。また、経営面では、少子化が進み量的な拡大が見込めない一方、製造コストの増加傾向が今後とも強まっていくものと思われます。とりわけ、輸入原材料などに多くを依存していることによる為替変動リスクに晒されているほか、人件費や物流コストの上昇など負担は益々増大しております。なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、消費者の外出自粛、在宅の長期化が進み、巣ごもり消費が拡大いたしました。

このような状況のなか、当社グループでは、HACCPを包括した食品安全の国際規格FSSC22000の認証取得及びバージョンの更新を引き続き実施しており、品質の維持・向上や合理化のための設備投資を継続的かつ積極的に行っております。さらに、新型コロナウイルス感染症の影響については、農林水産省より食料安定供給の観点から事業継続のガイドラインが発信されており、当社グループでは感染予防に十分な対策を取り、市場への円滑な商品提供に万全を期しております。

当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、従来の営業活動が制限される中、売上高は好調だった前年度には及ばず、19億9千9百万円(前年同期比3.3%減)となりました。利益面では、引き続き製造コストの低減を図ってきたほか、新型コロナウイルス感染症の影響を受け販売管理費を主体とした経費の先送りや削減などにより、営業利益は8千7百万円(同101.3%増)、経常利益は1億5百万円(同85.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5千9百万円(同85.1%増)となりました。

部門別概況は、次のとおりであります。

[凍豆腐]

凍豆腐では、引き続き市場拡大・活性化を図るべく活動してまいりました。とりわけ、当社グループの食品研究所にて健康機能性についての研究を推進し、乳児アトピー性皮膚炎改善の効果検証を発表するなど製品価値の訴求に努めてまいりました。その結果、売上高はメディアでの紹介などもあり好調だった前年同期並みの、9億7千1百万円(同0.9%減)となりました。

[加工食品(即席みそ汁等)]

加工食品では、単品収益管理の徹底により不採算アイテムの改廃を進め収益力の改善に引き続き努めております。また、大手コンビニエンスストアと共同でカップ入りタイプの新商品開発の取り組みを行いました。しかし、袋入りタイプの市場における価格競争などは依然激しく収益性が悪化した商品の改廃を進めたことにより、売上高は5億2千6百万円(同5.1%減)となりました。

[その他食料品]

その他食料品の売上高は、5億2百万円(同6.0%減)となりました。その中で医療用食材につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響から、病院や介護施設・給食会社などでの需要減を受け、低調に推移いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの資本の財源及び資金の流動性につきましては、以下のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間の資産合計は、前連結会計年度に比べ6千1百万円減少し98億2千5百万円（前連結会計年度比0.6%減）となりました。これは、たな卸資産の増加1億6百万円、無形固定資産の増加3千6百万円があったものの、売上高減少に伴う受取手形及び売掛金の減少2億5千万円があったことなどが主な要因です。

当第1四半期連結会計期間の負債合計は、前連結会計年度に比べ8千2百万円減少し28億2千4百万円（同2.8%減）となりました。これは、未払金の増加1億3千8百万円があったものの、設備関係支払手形の減少8千5百万円や返済に伴う長期借入金の減少1億1千4百万円などが主な要因です。

当第1四半期連結会計期間の純資産合計は、前連結会計年度に比べ2千万円増加し70億円（同0.3%増）となりました。これは投資有価証券の時価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加2千1百万円があったことによるものです。

以上により自己資本比率は前連結会計年度に比べ0.6ポイント増加し70.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月15日に公表いたしました2021年3月期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,298,571	2,323,378
受取手形及び売掛金	1,511,019	1,260,451
たな卸資産	826,784	933,610
その他	66,220	69,660
貸倒引当金	△4,928	△5,835
流動資産合計	4,697,666	4,581,266
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,844,094	5,842,295
減価償却累計額	△4,551,742	△4,577,459
建物及び構築物（純額）	1,292,352	1,264,835
機械装置及び運搬具	6,821,122	6,840,935
減価償却累計額	△5,450,528	△5,493,974
機械装置及び運搬具（純額）	1,370,593	1,346,961
土地	1,703,573	1,703,573
リース資産	193,595	187,181
減価償却累計額	△126,669	△109,838
リース資産（純額）	66,925	77,342
建設仮勘定	940	29,514
その他	445,454	454,498
減価償却累計額	△378,138	△377,992
その他（純額）	67,315	76,505
有形固定資産合計	4,501,701	4,498,734
無形固定資産	92,548	128,676
投資その他の資産		
投資有価証券	529,463	557,446
繰延税金資産	10,256	4,849
その他	58,985	57,714
貸倒引当金	△3,227	△3,227
投資その他の資産合計	595,477	616,782
固定資産合計	5,189,726	5,244,193
資産合計	9,887,393	9,825,459

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	541,449	532,813
短期借入金	502,264	494,887
リース債務	31,459	33,864
未払金	340,913	479,084
未払法人税等	41,743	11,111
賞与引当金	96,584	31,415
設備関係支払手形	134,110	48,562
品質関連損失引当金	14,441	22,035
その他	128,755	176,582
流動負債合計	1,831,723	1,830,355
固定負債		
長期借入金	946,147	831,205
リース債務	42,409	51,004
長期末払金	31,147	29,480
繰延税金負債	-	27,326
資産除去債務	48,089	48,143
その他	7,050	7,050
固定負債合計	1,074,843	994,209
負債合計	2,906,566	2,824,565
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,844	1,617,844
資本剰余金	1,632,423	1,632,423
利益剰余金	3,947,011	3,952,339
自己株式	△166,508	△166,508
株主資本合計	7,030,770	7,036,098
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△142,922	△121,448
為替換算調整勘定	48,591	42,216
その他の包括利益累計額合計	△94,331	△79,231
非支配株主持分	44,387	44,027
純資産合計	6,980,826	7,000,894
負債純資産合計	9,887,393	9,825,459

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	2,068,472	1,999,713
売上原価	1,435,679	1,382,652
売上総利益	632,793	617,061
販売費及び一般管理費	589,559	530,050
営業利益	43,233	87,010
営業外収益		
受取利息	594	737
受取配当金	6,976	6,846
受取賃貸料	60	707
受取技術料	2,968	2,436
補助金収入	580	2,500
受取保険金	1,024	5,315
雑収入	3,535	2,099
営業外収益合計	15,738	20,643
営業外費用		
支払利息	1,918	1,425
為替差損	-	107
賃貸収入原価	-	677
雑損失	297	180
営業外費用合計	2,216	2,389
経常利益	56,755	105,264
特別利益		
固定資産売却益	-	534
特別利益合計	-	534
特別損失		
固定資産除却損	2,744	1,168
品質関連損失	-	10,065
特別損失合計	2,744	11,233
税金等調整前四半期純利益	54,010	94,565
法人税、住民税及び事業税	4,336	7,497
法人税等調整額	17,568	27,134
法人税等合計	21,904	34,631
四半期純利益	32,106	59,933
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△87	348
親会社株主に帰属する四半期純利益	32,193	59,585

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	32,106	59,933
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,368	21,474
為替換算調整勘定	7,698	△7,083
その他の包括利益合計	△11,670	14,391
四半期包括利益	20,435	74,324
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,752	74,685
非支配株主に係る四半期包括利益	682	△360

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

品質関連損失

2019年10月3日に公表致しました当社一部製品が原因の食品事故発生に伴い、本件に係る費用を品質関連損失として計上しております。

なお、当該費用には、当四半期連結会計期間の末日時点で合理的に見積可能な金額を含めております。

(セグメント情報等)

当社グループは、食料品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。